

観光のあり方を ブツダから学ぼう。

観光学部 准教授

清水 洋平

SHIMIZU

YOUHEI

略 歴

大谷大学大学院文学研究科博士後期課程 仏教学専攻 単位取得満期退学 博士（文学）
大谷大学 任期制助手
日本学術振興会 特別研究員【PD：名古屋大学】
大谷大学真宗総合研究所 特別研究員
大谷大学、神戸国際大学、名古屋大学、京都光華女子大学、愛知学院大学、龍谷大学で非常勤講師を務める。
剣道三段

専門分野

文化人類学、民俗学

研究活動

「仏教学（ブツダの教えを学ぶ）」は、その学びの中心に人間の在り方（他者との共生）への深い洞察があります。「平等」や「公平」、「思いやりの心」はどのようなものかを知りその意味を明らかにしていくことで、結果的に倫理や道徳を考えることとなります。
「人間とはこういう存在だ」という人間観があり、その理解の上に「観光倫理」が成り立ち、それを土台として人間的・包括的な「観光が果たす役割」への考察が深まると考えます。
「思いやりの心」、ひいては「おもてなしの心」の本質を学生自身がしっかり受けとめ、他者を尊重する心を身に付けた「責任ある観光」を意識する心豊かな観光人材の育成に尽力しています。

大阪観光大学での主な研究テーマ

- ・「思いやりの心」、そして「共生」とはどのようなものか。
- ・「責任ある観光」を常に念頭に置いた心豊かな人材とは。
- ・「多様性社会が求める観光」のあり方について。 ↗

↘人間の在り方を考える人間学（もしくは仏教学）を通じ、特に東南アジアの仏教文化や、宗教文化と自然環境保全の繋がりに着目して学びを深めています。

担当科目と授業の醍醐味

現代における幸福と自己、観光と倫理、調査研究、文化鑑賞創造実践

調査研究：

過去のスリランカでの僧侶経験など、仏教寺院を主とした自身の20回以上の海外調査活動において、現地の人々と共に過ごし、交流した経験を踏まえ、異なるものに対する理解と、理解から生まれる尊重と尊敬の心の大切さを学生に伝えることに注力します。東南アジア宗教文化の学びを通じて、学生が未知なるものに共感する力を育んでいく場に寄り添えるところに喜びを感じています。

文化鑑賞創造実践：

聖なる空間である神社仏閣を訪れることにより、日本の根元的な精神文化に触れていきます。精神文化の一つの象徴でもある剣道を取り上げ、その基本的な動作である素振りと形（かた）の稽古（実践）を通じて、見過ごしている日本文化の美意識を体験し、関心を深める機会にします。独自の文化の存在・創造こそが、学びのそして観光の基礎であることを理解します。

学外での取り組みなど

タイ国の文献遺産保存への協力・貢献のための東南アジア文献遺産日本保存会の設立および運営：

現在、東南アジアの寺院などで伝承されてきた仏典古写本は、放置され隠滅の危機に瀕しています。この状態を危惧する国内外の研究者と共に、自主団体「東南アジア文献遺産日本保存会」を設立しています。民間からの寄付金を得て、現在、保存会チーフとしてタイ国の様々な寺院が所蔵する古写本資料の調査、目録作成、整理・保存に努めています。併せ、稀覯文献の出版活動も行っています。

